

『ジャータカ』の伝播と変容

I 仏教のブツダ観:ブツダとは何か?

ブツダをどのように理解するかは、仏教にとって核心的な問題の一つであり、仏教の歴史的变化とともにその理解も変わってきた。この問題は仏教内部では仏身論と呼ばれる。

1. 一仏主義、歴史的ブツダ:初期仏教から上座部仏教の流れ

- 1) 釈迦牟尼(Sākyamuni). ゴータマ・ブツダ(Gotama Buddha).
- 2) 歴史的に一度だけこの世界に出現した人間。→「仏伝」
- 3) ブツダになるまで、菩薩として無数の生をくりかえした。→「ジャータカ」
「ジャータカ」は、ブツダの生き方を理想のモデルとするブツダ崇拜の一部である。したがって、(大乘仏教にも伝承されているが)上座部仏教において重要な位置を占める。

2. 神格化されたブツダ

- 1) ブツダに対する信仰の深化→超人的ブツダ観。「仏伝」の神話化と「ジャータカ」の増大
- 2) ブツダのシンボルへの崇拜→仏塔崇拜(ストゥーパ「卒塔婆」). 遺灰, 仏牙.

3. 大乘的ブツダ:多仏主義

前1世紀頃から、在家信者を中心とした新しい仏教運動が現れた。彼らは自らを、ブツダの真の教えに戻る「大乘」とよび、保守的な仏教徒を「小乗」と貶めた。

- 1) すべての人はブツダになる可能性を持っている。すべての人は潜在的に菩薩である。
過去七仏、三世十方世界のブツダ。大乘の菩薩:自利利他。
例:阿弥陀仏(Amitāyus, Amitābha)。法蔵菩薩(Dharmākara)の修行の結果。「報身」としてのブツダ。
例:観(世)音菩薩(Avalokiteśvara)。ブツダになれるにもかかわらず、この世界にとどまって人々を救う。
- 2) ブツダが説いた真理は永遠に存在する。その擬人化を「法身(ほっしん)」としてのブツダという。
例:大日如来(Vairocana)。

参考図書(仏教に関するもの)

- 石井米雄『タイ仏教入門』(めこん, 1991)タイにおける上座部仏教の最良の案内。
中村元ほか『岩波仏教辞典』(岩波書店, 1989年)
水野弘元『仏教要語の基礎知識』(春秋社, 1972年)

II ジャータカの構造:「テキスト」「語り」「物語」

ジャータカの構造を「テキスト」「語り」「物語」という三つのレベルで考える。「ローヒニー・ジャータカ」(J45)と「兎ジャータカ」(J316)を例に取り上げる。

1. 「テキスト」の種類

ジャータカ(jātaka, 本生経)物語とジャータカ物語集。経・律。論。書承と浮彫。

- 1) パーリ語『ジャータカ』。22篇547話。1世紀頃。
- 2) サンスクリット語『ジャータカ・マーラー』(Jātakamālā)35話。2世紀。
- 3) 漢訳『六度集経』91話。2世紀頃。

2. 「語り」の形式

- 1) 現在物語:どのような機会にブツダが物語を語ったかを記す部分。語り手=ブツダ
- 2) 過去物語:ブツダの前生物語。ジャータカの主要部分。散文と韻文からなる。
- 3) 連結:再び現在に戻り、過去物語の登場者と現在物語の人物とを結びつける。登場者の一人は必ずブツダ本人である。

3. 「物語」の思想

波羅蜜(pāramitā):菩薩の基本的実践徳目。布施, 持戒, 忍辱(にんにく), 精進, 禅定, 智慧。

参考図書(ジャータカに関するもの)

- 岩本裕『インドの説話』(紀伊國屋書店, 初版1963, 復刻版1994)インド起源の仏教・非仏教説話の日本とヨーロッパへの伝播を解説。専門的だが読みやすい。
中村元・監修『ジャータカ全集』全10巻(春秋社, 1982-91年)パーリ語ジャータカの完訳。
干潟龍祥『本生経類の思想史的研究』(山喜房仏書林, 1978年)ジャータカの専門的研究書。
干潟龍祥『ジャータカ概観』(春秋社, 初版1961年。改訂増補版1981年)上記の普及版。

III ウサギ本生物語の伝播と変容

ウサギ本生物語を例にとって、インドからインドネシア、中国、日本への伝播と変容の跡をたどる。
サンスクリット:śaśa=ウサギ. śaśin=(ウサギをもつもの)月

1. パーリ語ジャータカ第316話

- 1) ウサギ(=菩薩), サル, ヤマイヌ, カワウソ.
- 2) インドラ神(帝釈天)がウサギの誠心を試す.
- 3) インドラ神はウサギの徳が人々の心に残るようにとその姿を月に描く.

2. 『大唐西域記』

- 1) インドに陸路で旅した唐の仏僧玄奘の記録. 7世紀前半. 第7巻「バーラーナシー国の条」
- 2) ウサギ, サル, キツネ. インドラ神がウサギを試みる. ウサギは死ぬ.

3. 『今昔物語』

- 1) 11末-12世紀初. 平安後期の説話集. 天竺・震旦・本朝の3部構成. 第5巻第13話.
- 2) ウサギ, キツネ, サル. ウサギは死ぬ.

4. ボロブドゥール寺院の浮彫

- 1) 760-860年頃. 中部ジャワ. シヤイレンドラ王朝が建設した大乘仏教寺院.
- 2) 6層の方形壇と3層の円形壇からなる段丘ピラミッド形式. 432体の仏像. 1300面の浮彫.
- 3) 第1回廊主壁下段, 欄楯上下段から第2回廊欄楯にかけて720面の前生話と譬喩経.
- 4) 第1回廊欄楯上段23-25面. サンスクリット『ジャータカマーラー』第6話「ウサギ本生」.

参考図書(ウサギ本生物語に関するもの)

岩本裕『インドの説話』(初版1963. 復刻版1994. 紀伊國屋書店)インド起源の仏教・非仏教説話の日本とヨーロッパへの伝播を解説. 専門的だが読みやすい.

水谷真成・訳『大唐西域記』(中国古典文学大系第22巻. 平凡社, 1971年).